

副専攻名 フランス語学フランス文学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

すべての学生を対象として、フランス語の基礎運用能力を 着実に習得しながら、フランス文化に関する基礎的な知識を体系的に学ぶことを目的とする。とりわけ、フランス語という言語そのものの分析のしかた、フランス語で書かれた作品の分析のしかたを、それらを目標としている科目群から選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・フランス語の基礎的運用能力を身につける。
- ・フランス語という言語の分析に関する基礎知識をもつ。
- ・フランス文学全般に関する基礎知識を持つ。

副専攻を構成する科目

| 科目番号 | 授業科目名 | 学生の学習目標 | 学年 | 前期 | 後期 |
|-------|------------------|--|-----|----|----|
| 42441 | フランス語コミュニケーションⅠA | フランス語の基本文法知識を確実に習得する。 | 2 | 2 | |
| 42442 | フランス語コミュニケーションⅠB | 習得したフランス語知識を駆使して、平易なフランス語テキストを速読・多読できる能力を身につける。 | | | |
| 42443 | フランス語コミュニケーションⅡA | フランス語でコミュニケーションができるようになるための言語的、社会的知識を身につける。 | | | |
| 42444 | フランス語コミュニケーションⅡB | フランス語演習(聞く・話す)Aの発展的学習を行う。同様に、フランス語でのコミュニケーション能力を習得する。 | 2 | | 2 |
| 42445 | フランス語コミュニケーションⅢA | ・フランス語での中級口頭運用能力を習得する。 ・フランス文化／文明、フランス語圏に関する知識を高める。 | 3 | 2 | |
| 42446 | フランス語コミュニケーションⅢB | フランス語演習(口頭表現法)Aに引き続き、より発展したレベルのフランス語運用能力を身につける。 | 3 | | 2 |
| 42447 | フランス語コミュニケーションⅣA | 現代フランス事情に接しながら、フランス語の高度な理解力、自然なフランス語によるコミュニケーション能力を磨き、現場で役にたつ形で文法を復習できる。フランス語と英語をできるだけ関連付けて学び、相乗効果で両言語の能力を向上できる。 | 3 | 2 | |
| 42448 | フランス語コミュニケーションⅣB | 現代フランス事情に接しながら、フランス語の高度な理解力、自然なフランス語によるコミュニケーション能力を磨き、現場で役にたつ形で文法を復習できる。フランス語と英語をできるだけ関連付けて学び、相乗効果で両言語の能力を向上できる。 | 3 | | 2 |
| 42430 | フランス語作文表現法(基礎) | フランス語の語彙や表現法の知識を増やすと同時に、フランス語の発想で作文する能力を身につける。 | 2 | | * |
| 42431 | フランス語作文表現法(中級)A | ・自分が伝えたいことをフランス語で表現できるようになる。 ・複文構造のフランス語で表現できるようになる。 | 3 | | * |
| 42432 | フランス語作文表現法(中級)B | ・自分が伝えたいことをフランス語で表現できるようになる。 ・複文構造のフランス語で表現できるようになる。 | 3,4 | | * |
| 42407 | フランス語学概説A | ・フランス語学の基礎を学ぶ ・フランス語の何が、どのような部分が、研究テーマになるかという問題に対し、意識をもつようになること。 | 2~4 | 2 | |
| 42408 | フランス語学概説B | ・フランス語学の基礎を学ぶ ・フランス語学概説 Aと同様に、言葉の問題とは何かを継続的・発展的に考察していく習慣をつける。 | 2~4 | | 2 |

副専攻名 フランス語学フランス文学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

すべての学生を対象として、フランス語の基礎運用能力を 着実に習得しながら、フランス文化に関する基礎的な知識を体系的に学ぶことを目的とする。とりわけ、フランス語という言葉そのものの分析のしかた、フランス語で書かれた作品の分析のしかたを、それらを目標としている科目群から選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・フランス語の基礎的運用能力を身につける。
- ・フランス語という言葉の分析に関する基礎知識をもつ。
- ・フランス文学全般に関する基礎知識を持つ。

副専攻を構成する科目

| 科目番号 | 授業科目名 | 学生の学習目標 | 学年 | 前期 | 後期 |
|-------|--------------|---|-----|----|----|
| 42409 | フランス語文法概説A | ・フランス語学の基礎を学ぶ ・フランス語の何が、どのような部分が、研究テーマになるかという問題に対し、意識をもつようになること。 | 2～4 | 2 | |
| 42410 | フランス語文法概説B | ・フランス語学の基礎を学ぶ ・フランス語学概説 Aと同様に、言葉の問題とは何かを継続的・発展的に考察していく習慣をつける。 | 2～4 | | 2 |
| 11048 | フランス文学史A | 中世から18世紀までのフランス文学の歴史的背景を確認し、その内的発展と文学創造の必要性を理解する。 | 2～4 | 2 | |
| 11049 | フランス文学史B | 19世紀から20世紀までのフランス文学の歴史的背景を確認し、その内的発展と文学創造の必要性を理解する。 | 2～4 | | 2 |
| 11046 | フランス文学概説A | 中世から18世紀までのフランス文学の歴史的背景を確認し、その内的発展と文学創造の必要性を理解する。 | 2～4 | 2 | |
| 11047 | フランス文学概説B | 19世紀から20世紀までのフランス文学の歴史的背景を確認し、その内的発展と文学創造の必要性を理解する。 | 2～4 | | 2 |
| 42419 | フランス語文法論 | フランス語を例として、ことばと社会(人間)の関わりについて考える。 | 2～4 | 2 | |
| 42420 | フランス語学総論 | ・フランス語の形態、語同士の組み合わせ規則、形態素のもつ多義性や言葉の使用状況とその意味効果に関する問題について、知識を得る。 ・また、そのような言語事実とその理論的分析の仕方を学ぶ。 | 2～4 | | 2 |
| 42421 | フランス語学特殊講義 | フランス語の機能語のなかでも前置詞の習得は困難な学習項目の一つである。この前置詞に集中し、フランス語の特質や意味価値について考察する。 | 2～4 | 2 | |
| 42401 | フランス語史A | ・フランス語がどのような言語であるかを学ぶ。 ・フランス語の元になったラテン語が、どのような過程を経て現在のフランス語の形を取るようになったのかを学ぶ。 | 2～4 | 2 | |
| 42402 | フランス語史B | フランス語史Aの習得後、中(期)フランス語から現代フランス語までのフランス語の歴史を考察する。 | 2～4 | | 2 |
| 42413 | 古・中(期)フランス語A | 古・中(期)フランス語は日本の古典時期にあたる。この時期にラテン語からフランス語への進化の過程 | 2～4 | 2 | |
| 42414 | 古・中(期)フランス語B | 古・中(期)フランス語、すなわち13世紀後半から16世紀にかけては、現代フランス語へと大きく歩みだした時期である。この時代のテキストを読み、具体的に古・中(期)フランス語のしくみを理解する。 | 2～4 | | 2 |

副専攻名 フランス語学フランス文学**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

すべての学生を対象として、フランス語の基礎運用能力を 着実に習得しながら、フランス文化に関する基礎的な知識を体系的に学ぶことを目的とする。とりわけ、フランス語という言語そのものの分析のしかた、フランス語で書かれた作品の分析のしかたを、それらを目標としている科目群から選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・フランス語の基礎的運用能力を身につける。
- ・フランス語という言語の分析に関する基礎知識をもつ。
- ・フランス文学全般に関する基礎知識を持つ。

副専攻を構成する科目

| 科目番号 | 授業科目名 | 学生の学習目標 | 学年 | 前期 | 後期 |
|-------|-------------|---|-----|----|----|
| 42411 | フランス文学特殊講義A | フランス語の詩に原文で親しむとともに、韻文独特の形式上の規則や詩的イメージを解釈する能力を身につける。 | 2～4 | 2 | |
| 42412 | フランス文学特殊講義B | 19世紀フランス語文学作品(スタンダールなど)を読解し、その意義を知ることができる。 | 2～4 | | 2 |
| 42417 | フランス文学分析研究A | フランス語の詩に原文で親しむとともに、韻文独特の形式上の規則や詩的イメージを解釈する能力を身につける。 | 2～4 | 2 | |
| 42418 | フランス文学分析研究B | 19世紀フランス語文学作品(スタンダールなど)を読解し、その意義を知ることができる。 | 2～4 | | 2 |